

Cisco Content Services Switch の脆弱性

severity アドバイザリーID : cisco-sa-20010131-arrowpoint-cli-fs
初公開日 : 2001-01-31 16:00
バージョン 1.2 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Command Line Interface (CLI) へのアクセスが認められれば Cisco Content Services (CSS) スイッチ製品に、別名 Arrowpoint は、2 セキュリティー の脆弱性があります。最初の脆弱性は Cisco バグ ID CSCdt08730 で、スイッチこれ文書化されています権限のないユーザによって一時サービス拒否に強制である場合もあります。第 2 問題は非特権 ユーザがファイル名およびファイル内容を表示することを可能にします。これは Cisco バグ ID CSCdt12748 で文書化されています。

このアドバイザリーの全文はで表示することができます:

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20010131-arrowpoint-cli-fs>。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco Content Services スイッチは脆弱性のこのグループから影響を受けます。CSS スイッチは別名 Arrowpoint 製品で、Cisco WebNS ソフトウェアを実行します。

Cisco CSS 11050、CSS 11150 および CSS 11800 ハードウェアプラットフォームは脆弱性のこのグループから影響を受けます。

その他のCisco製品は脆弱性のこのグループから影響を受けません。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリーの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

<p>リ ビ ジ ョ ン 1.2</p>	<p>2001- April- 13</p>	<p>ソフトウェア バージョン および 修正 セクシ ョンはから変更されました: "CSCdt08730 は Cisco WebNS ソフトウェアの Revision 4.01(12s) および修正 3.10 (71s) で解決さ れます。 ファイル システム情報ディスクロ ージャーの脆弱性は解決されることになっ ていますが現在未解決です。 回避策は暫定的に 推奨されます。 この表記は脆弱性が解決され るか、または脆弱性まで月例解決されて」。 であって下さいとき更新済です 次のようにします。 "CSCdt08730 は Cisco WebNS ソフトウェア の Revision 4.01(12s) および修正 3.10 (71s) で解決されます。 ファイル システム 情報ディスクロージャーの脆弱性は Revision 4.01(23s) および修正 4.10(13s)." で解決され ます この通知 の ステータスは中間から最終に変 更され、この通知 の ステータス セクション の下の言葉遣いはから変更されました: 「こ れは暫定的注意です。 シスコでは、この通知 のすべての内容が正確であることの保証はで きませんが、可能な限りすべての事実を確認 しています。 Cisco はソフトウェアが更新済 であると同時にこの表記の更新バージョンの 発行を予想します。 Cisco は 2001 3 月01." までにこの表記をアップデートします 次のようにします。 「これは最終的な 注意です。 シスコでは、 この通知のすべての内容が正確であることの 保証はできませんが、可能な限りすべての事 実を確認しています。 シスコは、これらの事 実に重大な変更がない限り、この通知のア ップデート バージョンを発行する予定はありま せん。 もしファクトに重要な 変更があれば 、Cisco はこの表記をアップデートするかも しれません」。</p>
<p>リ ビ ジ ョ ン 1.1</p>	<p>2001- Febr uary- 02</p>	<p>次の文は変更されました: 「Command Line Interface (CLI) へのアクセスが」。 は認め られれば Cisco Content Services (CSS) ス イッチ製品に、別名 Arrowpoint、複数のセキ ュリティー の 脆弱性があります 次のようにします。 「Command Line Interface (CLI) へのア クセスが」。 は認められれば Cisco Content Services (CSS) スイッチ製品に、別名 Arrowpoint、2 セキュリティー の 脆弱性があ ります ワードは 2」 「に「複数」変更されました</p>
<p>リ</p>	<p>2001-</p>	<p>初回公開リリース</p>

ビジョン 1.0	January-31	
-------------	------------	--

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。